

## 原単位の改善のための取組に関する状況 【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

株式会社 東都冶金

銘柄コード

法人番号 2020001111404

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	24	金属製品製造業
細分類 (申請事業)	2465	金属熱処理業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	13,245 GJ	342 kJ
前年度エネルギー総使用量		□□□□ kJ
非化石エネルギー総使用量	□□□□ GJ	□□□□ kJ
調整後温室効果ガス排出量	□□□□□	t-CO <sub>2</sub>

### 【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注 (2023年度実績)	□.□□		原単位分母		■■■量(トン)
	主たる事業の構成割合	□□.□	□□.□	%	
事業者全体のエネルギー消費原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

### 【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	□.□□		原単位分母		■■■量(トン)
DR実施日数	□□□	□□□	□□.□	□□.□	
事業者全体の電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□	□□.□
事業者全体の5年度間平均原単位変化	□□.□				

### 【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分	■■	■■■■業
目指すべき水準	□□.□	kJ/t以下
ベンチマーク指標の状況	達成	
ベンチマーク区分	■■	■■■■業
目指すべき水準	□□.□	kJ/t以下
ベンチマーク指標の状況	未達成	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

### 【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量	
Jクレジット	□□□□□	t-CO <sub>2</sub>
-	-	t-CO <sub>2</sub>
-	-	t-CO <sub>2</sub>
-	-	t-CO <sub>2</sub>

### 【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

（記入欄）

### 【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項  
加熱装置の熱源に電気ヒーターを使用するタイプの熱処理炉を使用しており大量の電気を必要とする。真空排気に真空ポンプを使用しており、生産中だけでなく、待機中も電力を使用する。

生産設備  
・デマンドを使用して、電気使用量の監視を実施  
・生産時以外(待機中)に真空ポンプ等の電源をOFFにする電力削減の取組みを実施  
・冷却水のクーリングタワーへの送水を温度によってON/OFFする機能による電力削減の取組みを実施  
その他  
・工場、事務所、外灯などのLED化による使用電力削減の取組みを実施

### 2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

業種的には不可能ですが、太陽光パネル設置等の取り組み案も考えております。

### 【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)  
●●●…

2. 関連リンク  
 ( タイトル ) : ●●●●●(URL)  
 ( タイトル ) : ●●●●●(URL)  
 ( タイトル ) : ●●●●●(URL)

### (注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。

原単位の改善のための取組に関する状況【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

株式会社 東都冶金

銘柄コード

法人番号

2020001111404

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	24	金属製品製造業
細分類 (申請事業)	2465	金属熱処理業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	13,340	GJ	344.00	kL
前年度エネルギー総使用量				kL
非化石エネルギー総使用量		GJ		kL
調整後温室効果ガス排出量		t-CO <sub>2</sub>		

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合 %				
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化 (%)					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)	原単位分母				
	DR実施日数				
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kL/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kL/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	28.2%				
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
					26.9%
目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

--

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

加熱装置の熱源に電気ヒーターを使用するタイプの熱処理炉を使用しており大量の電気を必要とする。  
真空排気に真空ポンプを使用しており、生産中だけでなく、待機中も電力を使用する。

生産設備  
・デマンドを使用して、電気使用量の監視を実施  
・生産時以外(待機中)に真空ポンプ等の電源をOFFにする電力削減の取組みを実施  
・冷却水のクーリングタワーへの送水を温度によってON/OFFする機能による電力削減の取組みを実施  
その他  
・工場、事務所、外灯などのLED化による使用電力削減の取組みを実施

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

業種的には不可能ですが、太陽光パネル設置等の取り組み案も考えております。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
2. 関連リンク
:
:
:

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。